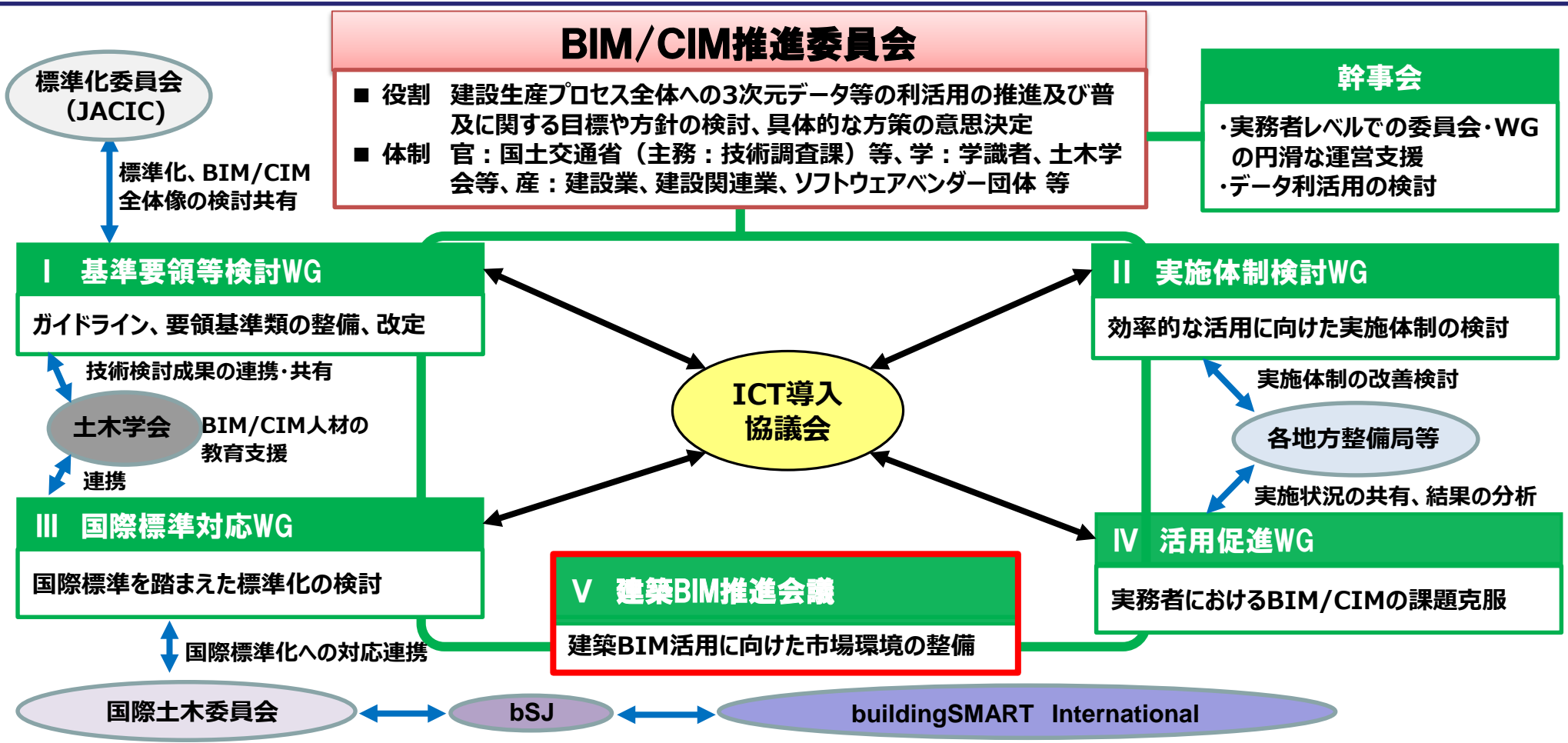


令和元年度BIM/CIM推進委員会検討体制

- 令和元年度における検討にあたっては、平成30年度に設置したWGを引き続き継続するとともに、BIM/CIMの運用拡大に向けたロードマップ及び新・3次元データ利活用方針の策定を目指す。
- 具体的な施策の検討にあたってはWGにおいて議論するとともに相互に連携をはかる。



※ BIM/CIMとは、Society5.0における新たな社会資本整備を見据え、建設生産・管理システムにおいて3次元モデルを導入し、事業全体で情報を共有することにより一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図ることをいう。

- WGの役割を、ガイドラインの改定等既存の枠組を中心とした検討項目から、BIM/CIMに関連する基準・要領等全体を俯瞰し、制度全体の整備を検討項目とすることが明確になるようWGを改称。

H30年度

R元年度～

BIM/CIM推進委員会・WG体制	
WG	検討項目
ガイドライン・要領基準改定	○ ガイドライン、要領基準類の整備、改定
実施体制検討	○ CIMの効率的な活用に向けた実施体制の検討（ECI方式等）
国際標準対応	○ 国内のデータ交換標準の検討及び国際動向の把握・共有
活用促進	○ 実務者におけるBIM/CIMの課題克服

改称



継続



新設

BIM/CIM推進委員会・WG体制				
WG	検討項目（・はR01検討項目）	学	産	官
基準要領等検討	○ 基準要領等及びガイドラインの整備、改定 ・CIM導入ガイドラインの拡充・見直し ・3次元モデル表記標準の拡充 ・新分野・新規工種の拡充に向けた検討	小林委員 蒔苗委員 ◎ 皆川委員 矢吹委員	●	●
実施体制検討	○ 効率的な活用に向けた実施体制の検討 ・3Dモデル契約図書化の制度検討 ・新たな積算方式の構築に向けた検討 ・教育、技術者育成検討 （・リクワイヤメントの設定方法の検討）	◎ 小澤委員 木下委員 皆川委員 矢吹委員	●	●
国際標準対応	○ 国際標準を踏まえた標準化の検討 ・国内のデータ交換標準 ・ISO19650等を踏まえた国内対応 ・国際動向の把握・共有	建山委員 ◎ 矢吹委員	●	●
活用促進	○ 実務者におけるBIM/CIMの課題克服 ・受発注者双方のフォローアップや改善分析 ・活用効果の定量的な評価指標の検討 ・データ流通・利活用に向けた環境整備	—	●	●
建築分野における検討（建築BIM推進会議）	○ 建築BIM活用に向けた市場環境の整備	◎ 松浦委員 蟹澤委員 志手委員 清家委員 安田委員等	●	●